

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	浄水場更新事業		担当部署	企業局 水道企画課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	水道法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="20"/> 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			21 年度
(小項目)		上水道			
施策	3	安全で安心な水の安定的な供給		終期	<input type="text" value="未定"/>
基本事業	3	災害対策等の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市浄水場						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市浄水場を耐震性のある災害に強い施設に更新する。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	研究会及び検討会からの意見を踏まえ、事業の基本的方針を決定し、事業認可に向けた事業計画策定にとりかかる。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		浄水場の更新		基本的 方針の 決定		基本 設計	事業変更認 可、発注資 料作成	

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	事業の基本的方針について検討を行った結果、新たな浄水場の規模は水需要予測に応じて縮小することとし、位置は現在の浄水場用地とすることとしたが、浄水処理方式については、ライフサイクルコストや原水への適合性をより詳細に検討する必要があるため、平成28年度に浄水処理実験を含んだ浄水処理フローの検討を行うこととした。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	浄水場更新業務実施数	0	3	1	1	1	件
	2							件
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	浄水場の更新			-	-	-	-	
	目標達成率(実績/目標)			0.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況		未達成		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	0	10,167	10,167
		全体予算額	0	0	0	0	28,145	28,145
		決算額	0	0	0	0	18,511	18,511
		繰越額	0	0	0	0	9,634	9,634
	人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費	
	0.5	0.0		3,430		21,941		

【事務事業名：浄水場更新事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	352,072	18,511	9,634	-	-
	うち一般財源	76,686	18,511	9,634	-	-
	人件費	20,634	3,430	3,430	-	-
	総事業費	372,706	21,941	13,064	-	-

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		事業の基本的な方針の決定に向けて慎重な検討を行う必要がある。
	効率性	A:効率的だった		多額の事業費を要する事業であり、検討を十分に行いライフサイクルコストを精査する必要がある。
②成果に対する評価	指標名	浄水場の更新		浄水処理方式について、処理実験等を行い、より詳細な検討を行うこととした。
	目標	基本の方針の決定	0	
	実績	-	0	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		進捗に若干の遅れはあるものの、着実に事業を実施している。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	多額の事業費を要する事業であり、実施に向けて十分な検討を行うとともに、資金調達に向けて経営改革を推進する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	浄水処理実験の結果を踏まえて、より詳細な比較検討を行い、浄水場更新の基本的な方針を決定する。			
	平成29年度	基本設計を行う。			